



令和 4年
春の生け花発表会

デイサービスセンター

毎月、希望者を募って行っている
レクリエーションです！
* 素敵な笑顔がいっぱいです *



在宅介護支援センター

心に残っている話

ケアマネジャー 松本一生

介護士一年生の頃、寒い朝に
お部屋に何うと必ず始まるあの
話。「膝まで雪が積もってたんだ
から。さつぱい日だった。外見た
ら兵隊が歩いて。私は(と背丈
を手で示し)これくらい。何が起
こったか分からなかったけど怖か
った。」ご本人が当時6歳で経
験した2・26事件早朝の話で
す。

寒さが厳しくなってきたり、
雪が降ったりするとよく思い出
すのだそうで、私に何度もはな
していただきました。

緊張感のある口吻と、大きな
ジェスチャーを交えていつもとて
もリアルに話してください、当時
ご本人が感じた恐怖や寒さが
本当に伝わってくるようでした。
あの頃は暖かい部屋の中でした
が、今冬の日に訪問に出る
ケアマネの私にとつても
また忘れられない
エピソードのひとつ
となっています。

お変わり
ありませ
んか？



シニアサポートセンター

身近な物で
防災グッズ

包括支援センター 佐藤佳枝
暖かい季節となり、出かけ
る機会も増えるかと思えます。
感染対策しつかりと行なってい
きましょう。今回は避難所な
ども役立つ新聞紙を使用し
ての『新聞スリッパ』の作り方を
ご紹介したいと思います。是非
作ってみてください。

- 1 新聞の手前 4分の1に折る
- 2 折った部分の 左右の角を折る
- 3 最初の新聞の大きさの半分 のところを向こう側に折る
- 4 折返し、横3分の1の と ところで、左右から折る
- 5 5で差し込んで、 出来上がった折面
- 6 6を裏返して手がいる所に 足を入れスリッパとする。(四角を小さく折り返すとよ りスリッパらしくなる。)
- 7 完成した 新聞スリッパ

豆まき加ふる

介護職 泉 智歩

令和四年二月六日午後
今年はコロナの影響によりレクリエーションではなく、各居室等にて豆まき・写真撮影を行いました。



今年の鬼さんは2人とも高身長で『モデルさんみたい!!』と女性入居者が怖がるどころか握手を求める声多数で。

豆も投げるのが申し訳ないからと『ハイ♥豆どうぞ』とプレゼントする人も…(笑) 終止モテモテな鬼さん。

とても笑顔あふれる豆まきとなり、良い思い出となったようです。



雛祭り会

介護職 新澤 有加

三月六日、感染対策に努めながら雛祭り会を開催しました。

まずは七段飾りなどのお話。初めて聞く話も多く、目を大きく見開き『へー!』と聞き入っておられ、又知っている事を発言されたり盛り上がりました。

次に職員によるハンドベル演奏。一人で四つのベルを必死に操り三曲演奏しました。失敗もありましたが、優しい笑顔あふれる拍手を頂き、心も空気も暖かく、春の空気が広がりました。

来年は全員で『ひなまつり』の歌を大合唱出来ますように!!



特別養護老人ホーム三恵苑



頑張ってます♪

介護職 大坂 幸枝

コロナが流行する前は、毎月娯楽のボランティアの方に来て頂くのが恒例でした。いつも受け身の状態で楽しくその時間を過ごしていました。「でもこれでいいのだろうか?」「いや違うのではないだろうか?」と思うようになりました。



入居者の方が積極的に協力し合って手軽に楽しく出来る事『そうだ、ハンドベルだ!!』それから十年、部員数十七名。男性の方も二名おられます。練習は日曜日の午前。楽しく、練習時間があつという間に過ぎてしまってます。行事の時に発表会があり、練習の成果を発揮しています。



竹節分

生活相談員 長澤 圭司

今年も、富士見園に鬼が二匹襲来しました。赤鬼・青鬼の二匹が、食堂と集会室を縦横無尽に暴れまわっていました。入所者の皆様の「鬼は外。福は内」という掛け声で、鬼に豆をぶつけ見事に撃退しました。



鬼を撃退後は、和菓子とお茶を召し上がって頂きました。コロナウイルスという鬼も一緒に撃退できれば、なお一層よかったです。



養護老人ホーム富士見園

新入社員紹介



右から、小池 智穂さん
昨年の六月に入社致しました。色々な事を学んでいる真っ最中です。入所者に信頼される職員になれるよう日々努力しています。

真ん中、佐田 智美さん
この度一月より働かせて頂く事になりました。利用者の優しい言葉と笑顔に日々元気をもらっています

左、長瀬 裕子さん
昨年の四月から入職させて頂きました。まだまだ分からない事ばかりで、毎日が勉強です。

宜しくお願いします



ウェルネス通信

胸の活性化!

マスク生活で呼吸が浅くなっていませんか?

【胸を開く動作】

- ① 鼻から息を吸いながら、両手を頭の上に広げて胸を開く
- ② 口から息を吐きながら、両手を、ゆっくり下ろす

※何度か繰り返しましょう

【胸を開く体操】

- ① 両手を広げて、肘から直角に曲げて、鼻から息を吸いながら、肘を後ろに寄せて胸を開く
- ② 口から息を吐きながら、胸を緩める
- ③ ※肩甲骨を引き寄せるように意識するとやりやすいです! 胸の奥には「肺」があります。胸が縮こまると呼吸が浅くなります。胸を張って「肺」を活性化しましょう

ウェルネスサポーター

節分豆まき

まだまだ寒さが厳しい2月の初めに4階のユニットでは元気に豆まきを行いました。

鬼退治に使うのは大豆ではなく、入居者が投げやすいように新聞紙を丸めて一つ一つ職員が手作りした大きな『豆』。青鬼めがけて思いきり投げました。体を動かして運動した後は、甘納豆をおやつに食べて、エネルギーを補給。

皆さん
一緒に楽しく
過ごしました。



おやつコレクション

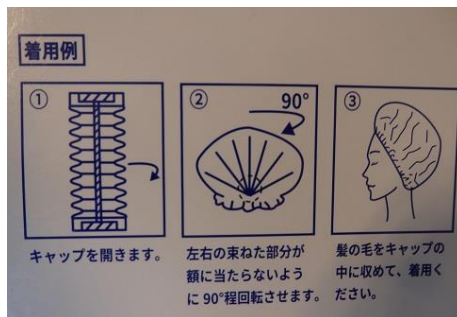
おやつはやつぱり甘いメニューの人氣が高いです。最近のおやつの一部をご紹介します。

季節の果物がたっぷり入りとった一つ食べただけでお腹がいっぱいになるという流行のフルーツサンドやバレンタインメニューとしてチョコレートフォンデュを楽しみました。大満足のおやつタイムとなりました。



特別養護老人ホームひかわ

ひかわの感染対策について



新型コロナウイルスが、世界中で猛威を振るっています。ひかわでは新型コロナウイルスの出現以前から発熱や下痢・嘔吐等の症状がある風邪や胃腸炎、インフルエンザなどの感染症を発生した入居者のケアとして感染症対策を行っています。

職員は必要に応じて右上の写真の様な防護具一式を身につけます。【写真の左上から時計回りに①目を保護するアイゴーグル②鼻と口を保護するN95型マスク③頭に被るヘアキャップ④全身を覆う防護服⑤両手にはデイスポージブル手袋】いずれも使い捨てで使用しています。すべて装着すると上のモデル職員のようになります。

手袋やマスクのサイズは、どの職員でも対応できるようにSサイズからLサイズまで取り揃えるなどしています。

これからも施設の中に感染源を持ち込まず、万が一施設に入った際には施設内で増やさず広げない工夫を継続して行っていきます。

令和四年四月一日
三恵会だより第八十二号
社会福祉法人 三恵会